

施策マネジメントシート

作成日 平成 29 年 6 月 22 日

施策	2-1 身近にスポーツを楽しめる環境づくり		
施策 主管課	生涯学習課	氏名	田中親吾
施策 関係課	教育総務課、御坂・一宮・八代・境川・春日居・芦川支所地域住民課		

1. 現状把握 Plan→Do

(1) 施策の目的と指標

① 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ◇市民(スポーツをしている人、スポーツをしていない人)	③ 対象指標名称 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない (単位)
	a 笛吹市の人口<山梨県笛吹市住民基本台帳行政区別人口統計表(4月1日現在)> 人
	b c
② 意図 (対象をどう状態に変えるのか) ◇気軽に運動やスポーツに取り組む。	④ 成果指標名称 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない (単位)
	d 各種スポーツ教室・講座参加人数 人
	e 運動やスポーツをしている市民の割合 %
f g h	
⑤ 成果指標設定の考え方 ◇気軽に運動やスポーツに取り組んでいるかを、各種軽スポーツ教室参加延べ人数で判断する。 ◇運動やスポーツに取り組んでいるか市民に聞く。	⑥ 成果指標の取得方法 ◇軽スポーツ教室参加延べ人数は、スポーツ推進担当の調査による。 ◇まちづくり基礎調査⇒設問「あなたは、現在、何らかの運動やスポーツを続けていますか。」

(2) 指標・事業費等の実績推移と目標値

			23年度 実績、決算	24年度 実績、決算	25年度 実績、決算	26年度 実績、決算	27年度 実績、決算	28年度 実績、決算	29年度 最終目標	
対象 指標	a 笛吹市の人口<山梨県笛吹市住民基本台帳行政区別人口統計表(4月1日現在)> 人	見込み値	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	
		実績値	72,192	72,145	71,724	71,132	70,749	70,599		
	b	見込み値								
		実績値								
	c	見込み値								
		実績値								
成果 指標	d 各種スポーツ教室・講座参加人数 人	成り行き値	3,920	3,920	4,892	5,137	5,394	5,664	5,947	
		目標値	4,900	4,900	5,145	5,402	5,672	5,956	6,254	
		実績値	4,386	5,070	5,507	5,546	5,181	5,764		
	e 運動やスポーツをしている市民の割合 %	成り行き値	32.0	32.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0
		目標値	32.8	33.0	33.3	33.5	33.8	34.0	34.3	
		実績値	32.4	31.6	32.2	-	-	-		
	f	成り行き値								
		目標値								
		実績値								
	g	成り行き値								
		目標値								
		実績値								
h	成り行き値									
	目標値									
	実績値									
施策コスト	事務事業数		本		40	41	38	39		
	事業費 (A)		千円	146,274	159,774	158,818	147,116	136,574	247,608	
	うち一般財源 (A')		千円	136,297	153,844	146,352	137,253	132,563	144,929	
	人件費 (B)		千円	39,256	38,544	40,184	41,430	38,908	44,261	
	トータルコスト (A+B) (C)		千円	185,530	198,318	199,002	188,546	175,482	291,869	0
うち一財 (A'+B) (C')		千円	175,553	192,388	186,536	178,683	171,471	189,190	0	

(3) 施策の目標設定の根拠 (水準の理由と前提条件)

<p>●後期基本計画策定に伴い成り行き値、目標値の再設定を行った。</p> <p>◇各種スポーツ教室・講座参加人数:成り行き値は前期基本計画の最高値(4,892)を基準に5%増で設定。目標値は前期基本計画最終年度目標値(4,900)から毎年5%増で設定。</p> <p>◇運動やスポーツをしている市民の割合:成り行き値はH24年度目標値を据え置く。目標値はH24年度から毎年0.25ポイント増で設定。</p>
--

(4) 施策の役割分担 (住民と行政との役割分担)

<p>ア) 住民の役割 (住民・地域・団体・事業所が、自助・共助でやるべきこと)</p> <p>◇市民は、スポーツをする。市のスポーツ教室に参加する。地域でスポーツの指導をする。</p> <p>◇地域及び地区は、運動会やスポーツ大会を開催する。</p>	<p>イ) 行政の役割 (市・県・国がやるべきこと)</p> <p>◇市は、スポーツ教室・大会を開催する。スポーツ施設を整備・管理し、市民に貸し出す。体育団体を育成・支援する。市民のスポーツ大会の結果を広報する。</p>
--	--

(5)環境変化（対象者や根拠法令等は5年前と比べてどう変わったのか）

◇一部のスポーツ施設の管理運営を指定管理者に委託している。
◇スポーツ少年団への加入者がH22まではほぼ横ばいだったが、H23以降、減少傾向である。
◇高齢者のスポーツ人口が増えている。
◇H22年度に体育協会事務局がふえふき・文化スポーツ振興財団に移行した。

(6)関係者の意見・要望（住民、議会、対象者、利害関係者等）

◇市民から、既存の施設の充実を図って欲しいという声がある。
◇市民から、スポーツ施設の使用料規定の見直しを望む声がある。
◇施設利用者から、器具及び備品の計画的な整備を望む声がある。
◇新たなスポーツ施設の建設を望む声がある。

2. H28年度の施策の実績 Check

(1)施策の成果実績

<p>① 目標達成度評価（前年度目標値と実績値との比較）</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった</p>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇各種スポーツ教室・講座参加人数は、目標値5,956人に対して、実績値5,764人とやや下回った。(健康への意識の高まっているものの参加人数はあまり伸びていない。)</p> <p>◇運動やスポーツをしている市民の割合は、H26年度からまちづくり基礎調査を実施しなくなったため評価困難であるが目標数値は達成されていないと考えられる。(運動やスポーツを行う時間や機会がなかなか作れないのが現実なのではないかと考えられる。)</p>
<p>② 時系列比較（過去3か年の比較）</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した</p>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇各種スポーツ教室・講座参加人数は、H26年度が5,546人、H27年度が5,181人、H28年度が5,764人とH27年度は減少したがH28年度は増加に転じた。(年々健康への関心が高まっており、軽スポーツに親しむ人は増えていると考えられるが、スクーラー講座・地域講座等によるスポーツ開催に対する参加人数は伸びていない。)</p> <p>◇運動やスポーツをしている市民の割合は、H26年度以降は数値が無であるが横ばい状態と考えられる。(余り成果が向上しないのは、仕事に子育てと運動やスポーツを行う時間や機会がなかなか作れないのが現実なのではないかと考えられる。)</p>
<p>③ 他自治体との成果実績値の比較</p> <p><input type="checkbox"/> 他自治体と比べてかなり高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> 他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 他自治体と比べてほぼ同水準である</p> <p><input type="checkbox"/> 他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> 他自治体と比べてかなり低い成果水準である</p> <p>自治体名⇒ 南アルプス市、山梨市</p>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇各種スポーツ教室・講座参加人数は、笛吹市5,764人、南ア市22,024人、山梨市320人と中間的な数値となっている。</p> <p>◇運動やスポーツをしている市民の割合は、近隣市において毎年同様のアンケートを実施していないため比較は行っていない。</p> <p>●南ア市には総合運動公園が、山梨市には総合体育館がある。</p> <p>●笛吹市には、アーチェリー場、乗馬場、ゴルフ場、スキー場等様々なスポーツ・レクリエーションを楽しめる施設がある。</p> <p>●南ア市では、桃源郷マラソンを開催している。山梨市では巨峰の丘マラソンを開催している。笛吹市では、桃の里マラソンや全国ゲートボール大会などの全国規模の大会を開催している。</p> <p>●スポーツ大会のメニューについては笛吹市の方が多い。</p> <p>●笛吹市は県体育祭で9年連続2位の成績を納めている。</p> <p>●スポーツ推進委員が他市に比べ充実していることから、地域スポーツの振興が図れている。</p>

(2)施策のコスト実績（対象1単位当たり又は住民一人当たりのコスト）

対象指標名称⇒ 笛吹市の人口	(単位)	26年度	27年度	28年度	効率性評価
*対象指標実績値 (D) (1枚目の a)	人	71,132	70,749	70,599	◇平成28年度は、保健体育総務事務、各種指定管理事業等が減となったが、新規事業の体育施設計画的改修事業、オリンピック・パラリンピック事前学習等誘致事業等により、事業費は増加している。 ◇人件費及び事業費が共に増加し、人件費率はH27年度22.18%に対して、H28年度15.17%から効率は向上している。
*対象1単位当たり事業費 (1枚目 A / D)	円	2,068	1,930	3,507	
*対象1単位当たり人件費 (1枚目 B / D)	円	582	550	627	
*対象1単位当たりトータルコスト (1枚目 C / D)	円	2,651	2,480	4,134	

(3)施策の現状と課題の総括

◇老朽化が進む体育施設の修繕と計画的な改修が求められている。
◇子どもから高齢者まで軽スポーツに関心を持つ人が増えているが、仕事に子育てと運動やスポーツを行う時間や機会がなかなか作れないのが現実のため、スポーツやレクリエーションなど活動をする機会の提供を行っていく必要がある。(運動・スポーツが気軽にできる環境づくり等)
◇スポーツをする機会が少ない人を対象としたスポーツ教室を充実する必要がある。

3.後期基本計画の取り組み方針(30年度) Action

(1)現状と課題から導き出した次年度の取り組み方針

◇計画的な改修計画を策定し、緊急度の高い修繕とあわせ取り組みを進める。
◇市民の誰でも身近にスポーツを親しむことができるための環境づくりに努める。
◇社会体育指導員を中心に、関係諸課とともにスポーツに接する機会を増やす。
◇施設の再配置計画による既存の体育施設の整備計画の検討を行う。

(2)施策の対象を、目標に導くための次年度の手段

◇緊急度の高い修繕から順次実施し、改修計画を検討する。
◇スポーツ推進委員や体育協会と連携を図り、スポーツ教室事業やスポーツ大会を実施する。
◇健康づくり教室、体力づくり教室を開催する。